

普及活動情勢報告（令和5年11月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

土佐清水市の産地の維持・発展を目指して ～土佐の豊穰祭in土佐清水～



10月15日、土佐清水市で「土佐の豊穰祭 in 土佐清水」が開催され、農業改良普及課、市役所、JAで構成する土佐清水市園芸農家担い手対策チームが就農相談ブースを出展しました。

農業改良普及課からは、イベント来場者に対して就農支援を紹介するパンフレットを配布し、情報提供しました。来場者からは「このような就農支援制度があること自体知らなかった」、「就農を考える知人に情報提供できれば」などの声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も当チームで連携し、土佐清水市における産地の維持・発展に取り組んでいきます。

収穫本数の増加を目指して ～ハイブリッドスターチス現地検討会～



10月24日、大方南部花き園芸部会のハイブリッドスターチス生産者のほ場を、生産者4名・関係機関3名で巡回しました。

これまで生産者からは「冬期の芽立ちが悪い」、「冬場は作業が暇なのに、春になると一気に開花するので調製作業に時間がかかる」といった声が出ていました。農業改良普及課からは、「抽台の早進化による収穫本数の増加」、「労力の分散」を目的として、10月下旬からジベレリンの噴霧試験実施について報告しました。

農業改良普及課は、今後も抽台日や収穫日・収穫本数を調査し、ジベレリン処理の効果を検証する予定です。

連携して新たな取り組みを！ ～中村地域営農協議会 設立総会～



10月25日、集落営農組織間の連携を目的に、四万十市中村地域の集落営農組織7組織が参加する、「中村地域営農協議会」の設立総会が開催されました。総会には、集落営農組織5組織9名・関係機関7名が参加しました。

総会では、今後の活動計画に関する話し合いが行われ、農業改良普及課からは、ドローンの導入や利用にかかる経費の試算について情報提供し、導入に向けて協議しました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携し、中村地域の集落営農組織の活性化のため、協議会の活動を支援していきます。

「土づくり」を学ぶ

～宿毛4Hクラブが生科研で視察研修～



11月1日、宿毛市4Hクラブが、熊本県阿蘇郡西原村にある株式会社 生科研で視察研修を行い、クラブ員6名・関係機関3名が参加しました。

農業改良普及課からは、視察研修を計画し、クラブ員へ周知しました。視察研修では、分析センターの見学と土づくりに関する講義を受講し、土壌分析の方法や土壌改良の方法等について学びました。クラブ員からは「土壌改善に繋がる良いヒントを得られた」との意見も出され、今後の栽培に役立つ知識を得た様子でした。

農業改良普及課は、宿毛4Hクラブで予定している出前授業やイベント等を中心に、引き続き支援していきます。

辛くないシシトウはいかがでしょう？

～どぶろく祭りでの試食イベント～



11月3日、三原村でどぶろく祭りが開催され、農業改良普及課は、シシトウの試食ブースを出展しました。

試食ブースでは、非辛みシシトウと従来品種の食べ比べをしてもらい、感想をアンケート形式で記入してもらいました。来場者からは、「辛味を感じず食べやすい」、「子どもでも安心して食べられる」等、非辛みシシトウに対する好意的な意見が多数ありました。

農業改良普及課は、今後も非辛みシシトウの消費にむけて働きかけるとともに、栽培技術の確立に向け、関係機関と協力していきます。

土佐文旦の若手生産者交流会in宿毛市！

～すくも文旦育成会～



11月8日、宿毛市宇須々木地区ほ場2カ所と宿毛市役所会議室で土佐文旦振興対策協議会の若手生産者交流会が開催され、生産者20名・関係機関16名が参加しました。

農業改良普及課からは、土壌改良剤による生理障害対策、環境データ測定装置を活用した実証試験（かん水試験等）について報告しました。また、果樹でのSAWACHIの推進を図るため、SAWACHIの画面を見せながら、土佐文旦での活用方法について情報提供しました。生産者からは「SAWACHIは何人が導入？」、「設置費用は？」、「生産者同士の情報交換ができた」といった声がありました。

今後は、環境測定データの活用による「見える化」とデータ共有のグループ化を推進していきます。